別紙

ＩＣＴ活用工事（（作業土工（床掘工））計画書

当該工事において、施工プロセスの各段階および作業内容において、ＩＣＴを活用する場合は、左端 のチェック欄に「レ」と記入する。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施工プロセスの段階 | | 作業内容 | | | 採用する  技術番号  （参考） | 技術番号・技術名 |
| □ | ①起工測量（選択） | □ | | 床掘り |  | 1　　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量  2　　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  3　　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  4　　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  5　　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量  6　　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  7　　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量  ※採用する具体の技術は受注後の協議により決定する。  ※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。 |
| □ | | 付帯構造物設置工 |  |
| □ | ②３次元設計データ作成 |  | | | |  |
| □ | ③ＩＣＴ建設機械による  施工 | □ | 床掘り | |  | １ ３次元ＭCまたは３次元MG建設機械 |
| □ | ⑤３次元データの納品  （※費用計上対象外） | ①②により作成した３次元データを、工事完成図書として電子納品する。 | | | | |

注 1) ＩＣＴ活用工事(作業土工（床掘工）)の詳細については、ＩＣＴ活用工事（作業土工（床掘工））特記仕様書及び試行要領によるものとする。

注 2) 具体的な工事内容及び対象範囲については、契約後、施工計画の提出までに、発注者へ提案・協議し決定する。

※関連施工種である「付帯構造物設置工」の３次元出来形管理を行う場合は、以下の表についても入力すること。（以下の左端 のチェック欄に「レ」と記入する。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| □ | 【付帯構造物設置工】  ④３次元出来形管理等の施工管理  （※右欄の技術番号  5～7の出来形管理  を選択した場合は、  費用計上の対象外） | □ | 出来形管理  （付帯構造物設置工） |  | 1　　空中写真測量（無人航空機）による出来形管理  2　　地上型レーザースキャナーによる出来形管理  3　　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  4　　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  5　　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理  6　　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理  7　　ＲＴＫ-ＧＮＳＳを用いた出来形管理  ※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。  ※ただし、上記５～７の出来形管理を選択して出来形管理を実施した場合は「３次元出来形管理・３次元データ納品費用、外注経費等の費用」の対象外となるので注意すること。  ※「①３次元起工測量」で採用した技術と相違しても良い。 |
| □ | 【付帯構造物設置工】  ⑤３次元データの納品  （※④右欄の技術番号  5～7の出来形管理  を選択した場合は、  費用計上の対象外） | ①②④により作成した３次元データを、工事完成図書として電子納品する。 | | | |